



General Insurance Rating Organization of Japan

損害保険料率算出機構

News Release

総合企画部 広報グループ

〒163-1029 東京都新宿区西新宿 3-7-1  
新宿パークタワー29階

URL : <https://www.giroj.or.jp/>

2023年6月28日

## 自動車保険参考純率 改定のご案内

損害保険料率算出機構【略称：損保料率機構、理事長：早川眞一郎】は、「損害保険料率算出団体に関する法律」（料団法）第9条第1項後段の規定に基づき、自動車保険参考純率の変更に関する届出を、2023年6月21日付で金融庁長官に行い、同年6月28日に料団法第8条の規定に適合している旨の通知を受領いたしました。

### 【改定の概要】

2025年1月1日以降、自動車保険参考純率上の自家用軽四輪乗用車における「型式別料率クラス」のクラス数を、現行の3クラスから7クラスに拡大します。

- ◆本資料に記載の参考純率の改定内容などは、実際に保険契約者の方が契約される保険会社の保険商品の改定内容などとは異なります。

### 【改定の背景】

自家用軽四輪乗用車の普及拡大に伴うユーザー層の多様化や安全性能の多様化を背景とした型式別のリスク実態の反映

詳細は別紙をご参照ください。

－ 本件のお問い合わせ先 －  
損害保険料率算出機構  
総合企画部広報グループ  
(担当：森田、濱田)  
E-mail : [contact@mx.giroj.or.jp](mailto:contact@mx.giroj.or.jp)

# 【自動車保険】参考純率改定のご案内

損害保険料率算出機構では、以下のとおり、自動車保険の参考純率<sup>※1</sup>を改定しました。

- ※1 損害保険料の基となる損害保険料率は「純保険料率」と「付加保険料率」にて構成されます。このうち事故が発生したときに保険会社が支払う保険金に充てられる部分が「純保険料率」であり、当機構では、この部分の参考数値である「参考純率」を算出し、会員保険会社に提供しています。詳細は、3頁をご参照ください。

## 1. 改定の概要

**2025年1月1日以降、自家用軽四輪乗用車<sup>※2</sup>における「型式別料率クラス」<sup>※3</sup>のクラス数を現行の3クラスから7クラスに拡大します。<sup>※4</sup>**

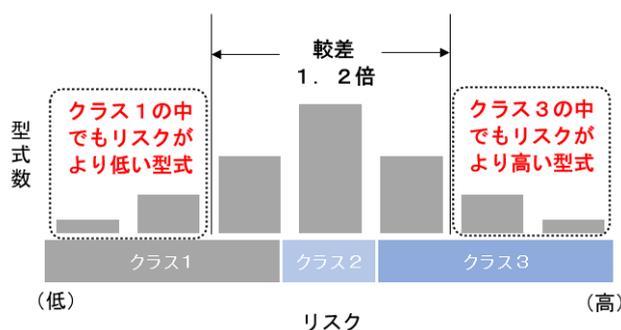
- ※2 自家用軽四輪乗用車とは、「軽5ナンバー」「軽7ナンバー」「軽8ナンバー」の自動車です。
- ※3 型式別料率クラスとは、自動車保険における自動車ごとのリスクを、1、2、3…というクラス別に設定したものです。自動車保険では、自動車ごとの性能やそのユーザー層などによって、個々の自動車ごとにリスクに差が見られるため、それを型式単位で評価してクラスを適用し、保険料に反映させています。型式は、基本的な車両構造等に基づいて自動車を分類する公的な単位であり、自動車検査証（車検証）に記載されています。適用するクラスは、補償内容（対人賠償責任保険、対物賠償責任保険、人身傷害保険、車両保険）ごとに定めています。
- ※4 保険会社が、自社の保険商品の「純保険料率」の算出にあたって、参考純率をどのように使用するのか（そのまま使用する／修正して使用する／使用せず独自に算出する等）については、保険会社ごとの判断によります。そのため、本資料に記載の改定内容は、実際に保険契約者の方が契約される保険会社の保険商品の改定内容とは異なることがあります。

## 2. 改定の背景

**自家用軽四輪乗用車の普及拡大に伴うユーザー層の多様化や安全性能の多様化を背景に、型式別のリスク実態にも差が見られるようになりました。**

自家用軽四輪乗用車へは2020年1月1日に「型式別料率クラス」制度を導入しました。導入時は、クラス数をクラス1～3の3クラスとしましたが、保険データでのリスク実態を踏まえると、現行のクラス1の中にはリスクがより低い型式が、現行のクラス3の中にはリスクがより高い型式が一定台数存在しています（右図）。

【自家用軽四輪乗用車のリスク実態のイメージ】



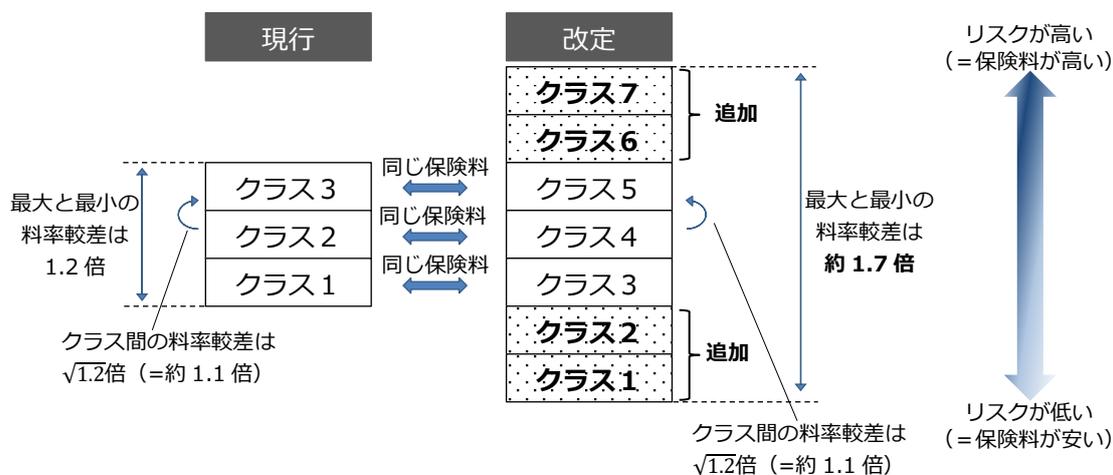
この背景には、自家用軽四輪乗用車の普及に伴うユーザー層の多様化や、衝突被害軽減ブレーキ（AEB）をはじめとする先進運転支援システム（ADAS）技術の向上による自動車ごとの安全性能の多様化などによって、型式別のリスク実態にも差が見られるようになったことが挙げられます。

このため、以下のとおり、クラス数を拡大し、よりリスクに見合ったクラスに型式を位置付けることで、契約者間の保険料負担の一層の公平化を図ります。

### 3. 改定の内容

自家用軽四輪乗用車における「型式別料率クラス」について、現行のクラス1よりもリスクの低い（保険料の安い）クラスを2つ、現行のクラス3よりもリスクの高い（保険料の高い）クラスを2つ、それぞれ追加して7クラスとします。

#### 【改定イメージ】



自家用軽四輪乗用車における「型式別料率クラス」について、現行のクラス1よりもリスクの低い（保険料の安い）クラスを2つ、現行のクラス3よりもリスクの高い（保険料の高い）クラスを2つ、それぞれ追加して7クラスとします。

現行のクラス1～3の保険料率は、それぞれ改定後のクラス3～5の保険料率に相当します。保険料の最も安いクラスと最も高いクラスの保険料率の較差は、現行で1.2倍でしたが、改定後は約1.7倍となります。

また、当機構では、その型式の直近のリスク実態と、適用しているクラスが見合っているかどうかを確認して見直す「クラス見直し」を毎年1月に行っています。その型式のリスク実態と、適用しているクラスが見合っている場合には、クラスの移動はなく、リスクが低ければクラスを下げ、高ければクラスを上げる仕組みです。

（この仕組みについては、現行から変更はありません。）

なお、2025年1月は、リスク実態と適用しているクラスが見合っている場合には、現行のクラス1～3は、それぞれ改定後のクラス3～5となります（【改定イメージ】参照）。

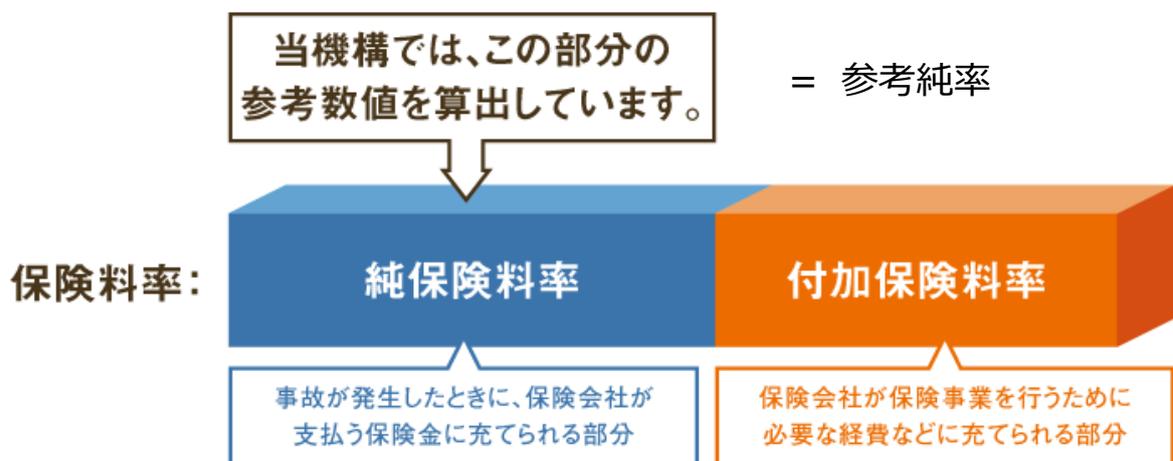
（見合っていない場合には、リスクに応じて移動したクラスとなります。）

### <参考純率とは>

保険料率は純保険料率と付加保険料率で構成され、当機構では純保険料率部分を算出しています。この当機構が算出する純保険料率を「参考純率」といいます。

当機構の会員となっている保険会社では、参考純率をそのまま使用することができ、また、自社の商品設計等に応じて修正して使用することもできます（参考純率は使用義務のない参考数値であり、これを用いずに保険会社独自に純保険料率を算出することができます）。純保険料率に保険会社で算出した付加保険料率を加えたものが、契約者の方が保険会社に支払う保険料の基になる保険料率となります。

なお、当機構で行う改定内容を採用するか否かは各保険会社が判断します。したがって、最終的な保険料は各保険会社の判断で決定される点にご留意ください。



## <損害保険料率算出機構について>

損害保険料率算出機構は、損害保険料率算出団体に関する法律に基づいて設立された団体であり、損害保険会社を会員とする組織です。主な業務は、以下の3つです。

### 保険料率の算出・提供



「合理的、妥当、不当に差別的でない」との原則に基づき、参考純率および基準料率を算出<sup>\*</sup>し、保険会社に提供しています。

### 自賠責保険（共済）の損害調査



「公正・迅速・親切」をモットーとして、自賠責保険（共済）の損害調査を行っています。

### データバンク



各種保険に関する大量のデータを集計し、保険会社等に提供しています。また、消費者向けの刊行物の作成・提供も行っています。

※当機構では、自動車保険・火災保険・傷害保険等について参考純率を、自賠責保険・地震保険について基準料率を算出しています。

## <関連情報>

### 自動車保険の概況 [\(https://www.giroj.or.jp/publication/outline\\_j/\)](https://www.giroj.or.jp/publication/outline_j/)

型式別料率クラスの仕組みをはじめ、自動車保険の仕組みや補償内容を説明するとともに、収支動向などを統計数値も用いて詳細に記載しています。

最新版：2023年4月発行

※本改定の内容は記載されていません。



### 型式別料率クラス検索 [\(https://www.giroj.or.jp/ratemaking/automobile/vehicle\\_model/\)](https://www.giroj.or.jp/ratemaking/automobile/vehicle_model/)

「メーカー・車名」もしくは「型式」から、参考純率における型式別料率クラスを検索できます。

本改定の内容に基づく、参考純率における型式別料率クラスについては、2024年11月頃から検索が可能となる予定です。



#### 型式別料率クラス検索

「メーカー・車名」もしくは「型式<sup>○</sup>」からお車の型式別の料率クラス<sup>○</sup>が検索できます。検索結果は、当機構で算出した参考純率上の料率クラスになります。各保険会社で使用している料率クラスとは異なる場合がございますので、自動車保険をご契約の際は各保険会社へご確認ください。なお、クラスが高いからといって、そのお車が危ない自動車であるということではありません。

**+** 検索だけのお車について

<b>メーカー・車名で検索する</b>	<b>型式で検索する</b>
自動車タイプを選択	自動車タイプを選択
メーカーを選択	または
車名を選択	型式を入力
メーカー・車名で検索	型式で検索